

1.小中一貫教育と統廃合

将来的な統合	現小中学校	H30児童生徒数	備考
玉里地区 義務教育学校 (H33年度予定)	玉里小学校	196人	H30現在 合計557人
	玉里北小学校	117人	
	玉里東小学校	52人	
	玉里中学校	192人	
小川北学区 義務教育学校 (H35年度予定)	野田小学校	227人	H30現在 合計620人
	上吉影小学校	115人	
	下吉影小学校	65人	
	小川北中学校	213人	

27

【1. 小中一貫教育と統廃合】

まず、1つ目は、今ある小中学校の「義務教育学校」の新設です。少子化が進み、児童生徒数が減少する小中学校を一貫校として、現在「玉里地区」「小川北学区」の2地区にて協議しております。

この「義務教育学校」とは、1年生から9年生が同じ校舎にて学び、小美玉市では「前期4年」「中期3年」「後期2年」の学年3区分制を編成するものです。

玉里地区の3小学校と1中学校を1つにする「一体型」として建設を予定しており、平成33年度の開校を目指しております。

また、小川北学区の3小学校を統合し、小川北中学校に増設する形で、平成35年度の開校を目指し、地域の方々とともに協議しております。

1.小中学校一貫教育と統廃合

(1)玉里地区義務教育学校



【想定される小中一貫教育】

- 小1～中3までの児童生徒が同じ校舎で、ともに学校生活を送る。
- 小中で統一した学校教育目標や重点目標を設定する。
- 義務教育9年間を通じた教育課程を編成(学年3区分制)

- 想定される校舎建設事業費＝約22億円
- 校舎面積＝7,000m²

28

【1.小中一貫教育と統廃合 (1) 玉里地区義務教育学校】

玉里地区義務教育学校は、新たに新校舎を建て、小中学校を統合するものです。

建設場所は、現在の玉里中学校。

現在、想定される校舎の面積は約7,000m²、小体育館約500m²で、現在の体育館も使用します。

一方、玉里小学校は中学校敷地に隣接しており、跡地では、課外活動の場として利用することを計画しています。

事業費は約22億円を想定し、地区の方々を中心とした開校準備委員会を開催し、協議を重ねています。

1.小中学校一貫教育と統廃合

(2)小川北学区義務教育学校



【想定される小中一貫教育】

- 小1～中3までの児童生徒が同じ校舎で、ともに学校生活を送る。
- 小中で統一した学校教育目標や重点目標を設定する。
- 義務教育9年間を通じた教育課程を編成(学年3区分制)

- 想定される校舎建設事業費＝約16億円
- 校舎面積＝4,500㎡

29

【1.小中学校一貫教育と統廃合 (2) 小川北学区義務教育学校】

一方、小川北学区については、現在の小川北中学校の北側に、新たな校舎を増築し、一体的に整備していく計画です。

校舎は、4,500㎡、事業費は約16億円を想定しています。

1.小中学校一貫教育と統廃合

(3)課題:閉校予定地の利活用

跡地利用地	敷地面積	校舎面積	棟数・構造	体育館
玉里北小学校	12,887m ²	2,279m ²	2棟・RC-3F	708m ²
玉里東小学校	10,248m ²	1,674m ²	2棟・RC-2F	651m ²
野田小学校	16,019m ² (うち673m ² 借地)	2,387m ²	3棟・RC-2F	583m ²
上吉影小学校	20,208m ² (うち441m ² 借地)	2,223m ²	2棟・RC-3F	510m ²
下吉影小学校	24,454m ²	3,609m ²	1棟・RC-2F	1,044m ²

・玉里小学校は、義務教育学校の課外活動の場(部活動等)として利用する。

30

【1.小中学校一貫教育と統廃合 (3) 課題:閉校予定地の利活用】

先ほどの小川小、橘小と同様に、玉里北小、玉里東小、野田小、上吉影小、下吉影小の5校が学校跡地となります。

この5校は、建物の構造上、耐震補強がなされております。

学校はその地域の歴史をものがたり、愛着を持つ方々がたくさんいます。また避難所としての機能を持ち、校舎だけではなく体育館の活用も考えなければなりません。

早急に活用策を見出し、地域にとっても、市にとっても有益になるような検証をしなければなりません。